



2020年1月20日

各 位

会社名 株式会社 Welby
 代表者名 代表取締役 比木 武
 (コード番号: 4438 東証マザーズ)
 問合せ先 上級執行役員 神谷 学
 CFO兼管理部長
 (TEL. 03-6206-2937)

2019年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社、本日開催の取締役会において、2019年3月29日に公表いたしました2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の通期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期通期業績予想の修正
 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,083	百万円 200	百万円 184	百万円 156	円 銭 20.51
今回修正予想 (B)	798	16	△1	△1	△0.14
増減額 (B - A)	△285	△184	△185	△157	—
増減率 (%)	△26.3	△91.8	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	808	156	153	176	23.80

2. 差異が生じた理由

売上面については、製薬会社からの依頼によるPHRプラットフォーム(※)開発について、主要顧客である外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期会計期間に売上が顕著に大きくなるという当社の業績の季節的変動性がある中、同四半期に売上高を実現するために営業及び納品を進める中で、一部の開発案件について翌期への納品の期ずれが約100百万円発生したほか、顧客都合による開発計画の翌期以降への後ろ倒しが発生しました。その結果、疾患ソリューション事業の売上高の見通しは624百万円となり、予想を194百万円下回りました。なお、納品の期ずれ分については2020年12月期の売上として高い確度で計上される見通しです。

また、Welbyマイカルテサービスについて、第4四半期に受注、提供を想定したWelbyマイカルテのOEM提供やDTC広告などのB2Bプロジェクトが翌期以降に先送りになるなどしました。この結果、マイカルテ事業の売上高の見通しは174百万円となり、予想を91百万円下回りました。なお、先送りになった案件のうち、約60百万円分については2020年12月期の売上として高い確度で計上される見通しです。

これらの結果、売上高は上記のように前予想を下回る見通しとなりました。

費用面については、開発の効率化等により計画より原価率が下がったため、売上原価が当初予想 402 百万円より 223 百万円減少して 179 百万円になった一方、品質管理や研究開発、セキュリティ強化などの活動が計画より増加しました。採用がおおむね予定通り進捗したため人件費は計画通りとなる見込みですが、結果として販管費は当初予想 480 百万円より 122 百万円増加して 603 百万円となる見通しとなりました。

利益面については、原価の減少はあったものの、売上高の減少及び販管費の増加があり、結果として営業利益、経常利益及び当期純利益は上記のように前回予想を下回る見通しとなりました。

※「PHR」とは、個人によって電子的に管理される自らの健康・医療情報のことを指します。「プラットフォーム」とは、当社が構築・運営する各疾患別のアプリを経由して、患者から提供された症状その他の医療情報等の記録、医療情報のデータベースへの保存・管理、Web サービスを利用した医療情報の閲覧・共有などを可能にする、当社が運営する一連サービスのことを指します。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上